



2018-19 年度 会長：片山 秀樹 幹事：林 たかみ 広報・会報委員長：黄堂 泰昌

事務局・例会場：〒562-0006 大阪府箕面市温泉町 1-1 箕面観光ホテル Tel: 072-724-2781 fax: 072-724-1786
e-mail: mino-orc@abeam.ocn.ne.jp HP: http://mino-orc.net/ 例会日：毎週木曜日 18:30～

◆今週の例会プログラム◆ 2019年3月7日(木)第2410回例会 卓話：山下恵司会員	◆次週の例会プログラム◆ 2019年3月14日(木)第2411回例会 卓話：芝野弘三郎会員
◇ロータリーソング◇ 奉仕の理想 ◇先週のお客様◇ 1組ガバナー補佐 青山快玄様(大阪北梅田RC) ガバナー補佐エレクト 田中隆弥様(池田くれはRC)	◆出席報告 2019年2月28日(第2409)回例会◆ 会員数：30名 出席者：17名 出席率 68.00% 前々前回 2019年2月14日 76.92%

◆会長挨拶◆ 会長 片山秀樹
皆様こんばんは。本日は青山ガバナー補佐、田中ガバナー補佐エレクトをお迎えしての例会です。よろしくお願いたします。

さて、皆さんビジョンとは何でしょうか。将来のある時点でどのような発展を遂げていたか、成長していかないかなどの構想や未来像のことと説明されています。会社の場合は社是、経営理念を根幹にしたビジョン(ありたい姿)を中期計画などとして表している場合が多いと思います。

一方、各ロータリークラブはRIに属していますが活動は各クラブが主体であり組織を運営する会長が毎年交代するという特殊性があります。もし、斬新的な考えの会長が誕生した場合、定款細則の範囲内であれば自由に活動できます。しかしクラブとしての一貫性が亡くなった場合の弊害は大きいでしょう。

2660地区においては2017-2018片山ガバナーの時に地区ビジョンが設定され「変えてはならないもの・継続性が必要なこと」を中期(5ヶ年)計画としてまとめられました。

箕面ロータリークラブとして将来のありたい姿はいかなるものでしょうか。年齢、ロータリアンとしての経験年数、ロータリーに対する思い入れなど個人ごとに異なるものであって当然かもしれません。メンバー個々には色々な意見があると思いますが統一した方向性を持つことは重要です。当クラブにおいても戦略計画委員会を中心に将来のあり方、あ

るべき姿を議論して皆で共有できるビジョンを定めてゆきたいと考えます。

◆幹事報告◆ 幹事 林 たかみ

- ・50周年記念式典について
- ・RYLAセミナーについて
- ・3月プログラムについて

◆SAA報告◆ SAA 芝野弘三郎

ニコニコ箱

岡内重信会員：本日卓話させていただきます。

黄堂泰昌会員：青山ガバナー補佐、田中ガバナー補佐エレクトようこそ！

西脇悟会員：先週の日曜日、J:COMウエスト主催の少年野球大会があり、我が西南エンデバーズが優勝しました。明日(3/1)TVで放映されます。

前田建司会員、河野優作会員、浦収会員、木村知也会員、山本貴雄会員、梶山博照会員、

米山奨学会

黄堂泰昌会員、前田建司会員、西脇悟会員、河野優作会員、浦収会員、木村知也会員、山本貴雄会員、岡内重信会員

ロータリー財団

川端崇且会員：岡内会員卓話よろしく

西宮富夫会員：青山ガバナー補佐、田中ガバナー補佐エレクトようこそ。

山下恵司会員：岡内さん卓話お願いします

黄堂泰昌会員、前田建司会員、西脇悟会員、浦収会員、木村知也会員、山本貴雄会員、岡内重信会員

◆卓話『一病息災』◆

岡内 重信

皆さまこんばんは。

私が入会したのは、薬剤師会の会長をしております時に、故人になられましたが多田会委員と真島会員からお誘いをいただき、箕面市民病院の婦人科におられた南川先生と一緒に入会させていただきました。

入会したのが、1997年の8月で、当時54歳でした。

大阪市内から箕面に越してきて、昭和48年に薬局を開局しました。それから46年になります。当時、箕面市は人口が4～5万人ぐらいでした。

数日前、私の大先輩から電話があり、ご入院中とのこと。その日のうちにお見舞いに行きました。その方は、今まで風邪もひかず、病院にかかったことがないという健康そのものだったそうです。様々な検査をし、結果は悪性のリンパ腫との診断でした。とてもがっかりしておられました。

その様な普段健康な方も、急に病に侵されるということをお話しします。

1980年に箕面市立病院が建設されました。当時、豊中市立病院、池田市立病院がありましたが、とても古かったです。

箕面市立病院の竣工式に招待され、駐車場が広く、正面玄関に中庭があり、きれいな病院に驚きました。さすが箕面市だな、と思いました。

多田会員も私もその当時、医師会や薬剤師会の会長をしておりましたので、市立病院の設立、箕面市保健センター（現豊能救急こども急病センター）の建設にも関わりを持たせていただきました。急病センターは、開業医が休診の時に役立ち、検診業務（人間ドッグ）も併せて行っていました。（現在は子ども救急のみ、人間ドッグは箕面ライフプラザ）

保健センターは、箕面市と医師会、薬剤師会が共同出資をし、財団を立ち上げて運営をしています。日曜、祭日の救急外来は、特にインフルエンザなど一日に400人ほど受診されるので、大変需要があります。

一方、検診事業につきましては、啓発活動やPRが行き届かない部分もあるので、経営が大変だということで、それぞれの団体も何らかの形で支援しようということでした。

あるとき、箕面市薬剤師会の若い会員が体の変調を

訴えられ、大学病院で検診に行きました。健診後すぐに入院されました。すぐに検査をし、手術をしましたが、手遅れでした。その方には小さなお子さんもおられました。もっと早くに医療機関にかかっていたら、と悔やまれます。

その様な経験から、薬剤師会の会員全員に検診を受けるよう呼びかけました。なかなか重い腰があがりませんでした。試行錯誤し、4割ほどの会員が受診してくれました。

ところが若い方が受診しても、ほとんど結果は良好、それに、受診は平日なので行けない人も多く、受診率はまた落ちてきました。

そんな中、箕面の医師会の若い医師会の方が癌で亡くなられ、それからは医師会や家族にも検診を受けるよう徹底しています。やはり、簡易な検査ではなく、トータルな踏み切った検査をしなければならないと判断されました。

私も妻も年に一回箕面市の保健センターで人間ドッグを受けております。

40才の時、尿路結石になりました。七転八倒するほど痛みがひどく、それからは、腎臓の検査には注意しています。

あるとき、腎臓の検査がいつもより入念にされ、医師からの診断は腫瘍でした。手術をし、初期の発見だったので今は転移せずに済んでいます。

その後も経過検査を続けています。大学病院では転移していないか詳しく検査してくれます。その様な検査の中で大動脈瘤が見つかりました。切除し、その後も病院に通っていました。その後も脈に異常が出て、ペースメーカーを入れる手術もしております。

「健康だから」、と検査を受けない方が多いと思いますが、私は尿路結石になって、二度とあのような痛い思いをしたくない、と人間ドッグを受け続けています。おかげで他の大きな病気が早期発見できました。

健康に自信があってもしっかりと受診し、初期の段階で病気を発見し、新薬の恩恵も受けて頂きたいと思えます。皆さまも箕面ロータリークラブ50周年を機に、人間ドッグを受診され、元気に奉仕活動ができることを願っております。